東京湾岸マップ

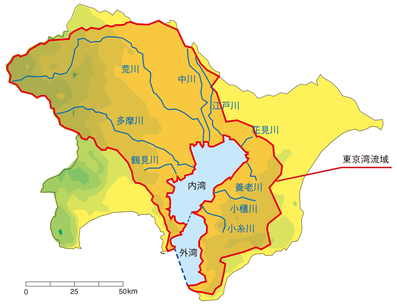
TOKYO BAY MAP

東京湾岸自治体環境保全会議 編

東京湾とは

東京湾とは、三浦半島の剱崎と房総半島の洲崎を結ぶ線から北の海域を指します。

東京湾は観音崎と富津岬を結ぶ線でさらに分けられ、北が東京内湾、南が東京外湾と呼ばれます。



東京湾に流入している川の流域が「東京湾流域」です。

東京湾の水をきれいにするためには、流入している川の水をきれいにしなければなりません。

東京湾の流域面積は9076k㎡、流域人口は約3100万人とされています。

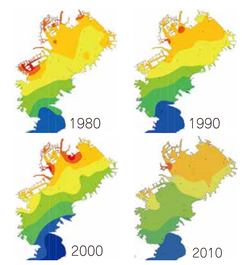
かつて、東京湾は「江戸前」として親しまれたように、豊富な魚介類の生息する豊かな海でした。ところが、その後の埋立や開発により干潟・藻場などの生き物の棲みかが失われ、人口や産業の集中によって急激に水質汚濁が進むなど、昭和40年代には、東京湾は私達の身近な存在から遠のき、かつての姿を失ってしまいました。

東京湾の水環境を改善するために、流域自治体では水質汚濁防止法に基づく汚濁原因物質の排出規制や削減指導など、様々な対策がとられています。こうした取組みを継続することで、東京湾の水質は以前と比べて改善してきました。

化学的酸素要求量（COD）

有機物などによる水質汚濁の程度を示す指標で、数値が大きいほど汚濁負荷が大きいことを示し、東京湾では夏季に高くなる傾向があります。

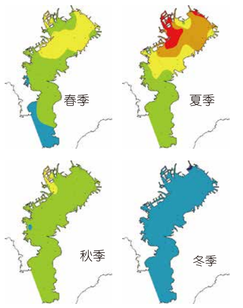
東京湾では1980年代に最も高くなり、その後徐々に改善傾向を示しています。



東京湾表層におけるＣＯＤ
（年度平均値）経年変化
（資料提供：東京都環境科学研究所）

底層の溶存酸素量（DO）

海底の水中に溶けている酸素の量は、東京湾奥部では特に夏季に低くなり、貧酸素状態となります。水中の酸素が少なくなると魚介類等の生き物が生息できなくなります。魚介類が生息するためには、3mg/Lが必要とされています。



東京湾底層における
ＤＯ季節変化（2012年度）

各地点の詳細情報は裏面をご覧下さい。

凡例

- 道路
- 鉄道
- 市町村境
- 10m以浅の海域
- 砂浜・干潟
- 防波堤
- ビュースポット
- レジャー
- 海水浴場
- 干潟・バードサンクチュアリ
- イベント
- フィッシングスポット
- 博物館・展示館・指標など

TOKYO BAY MAP

9 晴海ふ頭

7 東京タワー

5 しながわ宿場まつり

8 大森貝塚遺跡庭園

4 大森ふるさとの浜辺公園

2 多摩川河口干潟

7 かわさきエコ暮らし未来館

2 横浜フィッシングピアーズ

1 ヴェルニー公園

5 ヴェルニー記念館

1 海辺つり公園

TOKYO BAY MAP

9 浜離宮恩賜庭園

6 お台場海浜公園

5 大井ふ頭中央海浜公園

4 潮入ぐるっと観察会

3 東京国際空港

3 東扇島東公園

3 川崎みなと祭り

6 川崎マリエン

2 みなとみらい地区

1 野島干潟

2 海の公園

1 猿島公園

2 横須賀うみかぜカーニバル

3 横須賀美術館

4 馬堀自然教育園

2 浦賀の渡船

1 ペリー上陸記念碑

2 三浦海岸海水浴場

1 三浦海岸納涼まつり

10 霊岸島水位観測所

7 区立若洲公園

6 東なぎさ大クリーン作戦

葛西臨海公園・海浜公園
3 三枚洲

11 郷土博物館

7 御菜浦・三番瀬ふなばし港まつり

8 ふなばし三番瀬海浜公園
5 三番瀬

3 市原市海づり施設

9 海ほたるパーキングエリア

袖ケ浦海浜公園

8 盤洲干潟

10 富津潮干狩り場
9 富津干潟

14 富津埋立記念館

4 浮島

15 渚の博物館（館山市立博物館分館）

10 たてやま海まちフェスタ

4 野鳥の楽園

6 谷津干潟

千葉ポートタワー

7 養老川河口干潟

9 金田、牛込、江川、久津間、木更津海岸

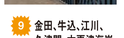
12 アクアラインなるほど館

8 みなと木更津うみ祭り

13 漁業資料館

9 富津市の3大食フェア

5 大房岬


11 沖ノ島

東京湾の生きものたち

コアジサシ

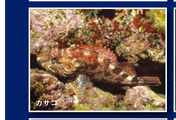
セグロカモメ

キアシシギ

コサギ

ミサゴ

リュウグウハゼ


カサゴ

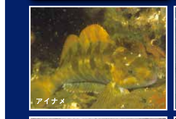
クロダイ

カワハギ

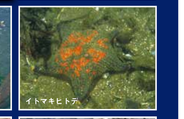
アナゴ

ススキ

メバル


アイナメ

アカクラゲ


イトマキヒトデ

アサリ

イソガニ

ヤマトオウガニ

ジャノメガザミ

アカテガニ

ミズヒキゴカイ

アオリイカの卵

海のゆりかご ～アマモ場～

アマモは、水深1～数mの浅瀬の砂地などに生育する海草です。アオリイカをはじめ、様々な魚の産卵場所や稚魚の成育場所となるため、「海のゆりかご」とも呼ばれています。

タマシキゴカイの糞と卵塊

干潟の謎の物体？？

干潟に棲むタマシキゴカイは海の砂を食べ、中に含まれる有機物を消化します。消化できない砂を糞として排出するので干潟にヒモ状の砂の山ができます。丸いゼリー状の卵塊とともに、干潟で見かけるちょっと不思議な光景です。

近年では国や地方自治体を始め、ＮＰＯや民間企業等、多様な主体による干潟・藻場の再生に向けた取組など、人と東京湾のつながりを取り戻す為の活動も活発になっています。しかし依然として夏場には赤潮や青潮の発生や、水中酸素量の低下も見られ、多様な水生生物が生活する場としては、まだまだ厳しい環境にあります。今後さらに美しく豊かな東京湾を取り戻す為には、東京湾流域に暮らす私達ひとりひとりの協力が不可欠です。

赤潮

海の富栄養化により海水中の微小な生物（プランクトン）が異常増殖し、海面が赤褐色などに変色する現象です。黄褐色や緑色などになることもあります。

主に夏季に発生し、魚介類に影響を及ぼすことがあります。

写真：2012年5月 東京都 撮影

青潮

海底に発生した酸素の少ない水塊が強風により表層に湧き上がり、その中に含まれる硫黄分が水面近くで酸素と触れて粒子状になるため青白く見えます。

青潮の発生は東京湾北東部に多く、漁業被害などを引き起こします。

写真：千葉県ホームページより

東京湾岸マップ　第5版　2018年3月発行

■ 参考にした文献資料等
・「見たちの東京湾―30周年記念誌（平成19年3月）」
東京湾岸自治体環境保全会議
・東京湾環境情報センターWEBサイト http://www.tbeic.go.jp/

■ 企画・発行・編集／東京湾岸自治体環境保全会議
■ ホームページ　http://www.tokyowangan.jp/
■ 印刷／株式会社東邦プラン　℡.044-549-0772